

## 農地リフレッシュ通信

### <特集>

#### 企業の参画・連携による耕作放棄地の解消事例

【企業のCSR活動と連携し本対策を活用した事例】

※一社一村運動の萌芽として期待される取組

##### ○秋田県 三種町 浜口地区

(農地リフレッシュ通信第4号No14で紹介した事例の経過状況)

##### ○福島県 会津若松市 笹山原地区

(農地リフレッシュ通信第6号No21で紹介した事例の経過状況)

#### 本対策を活用し企業・NPOが参入した事例

##### ○静岡県 御前崎市 塩原新田地区

##### ○愛媛県 東温市 宝蔵寺地区

### <その他>

#### 本対策を活用した事例

##### ○石川県 珠洲市 三崎地区

##### ○石川県 能登町 柳田地区

平成22年12月

耕作放棄地対策室

## 今回の紹介地区 No.102 秋田県 三種町 浜口地区

耕作放棄地再生利用緊急対策及び企業のCSR活動を活用した事例  
 (農地リフレッシュ通信第4号No14で紹介した事例)

### 取組概要

対象面積:0.95ha(畑)

実施期間:平成21年6月10日～7月24日

取組のきっかけ:地域協議会の会員である当地区の土地改良区が、荒廃農地の増加に苦慮していたところ、本対策の創設をきっかけに、その再生利用に向け取り組みを始めた。そのような中、県協議会から(株)クボタの「農業活性化プロジェクト(eプロジェクト)」の紹介があり、当地区の刈払、耕起、整地は(株)クボタの経費で実施した。

調整経緯:土地改良区が地主と利用者との調整を行い、実施に至る

取組主体:地域協議会、農家(計画栽培作物:ブルーベリー、メロン)

作業内容:ゴミ・雑木の除去(地域協議会)、刈払、耕起、整地((株)クボタ)、土壌改良(農家等)

### 企業のCSR活動の概要

クボタeプロジェクトとは

クボタグループと全国のディーラー(農機販売グループ各社)が日本の農業活性化を図ろうと、08年度からスタートした社会貢献活動。eプロジェクトのeには、earth(地球にやさしい)、ecology(環境保全)、eat(安全で安心な食料)、education(教育、農育、水育)、eau(安全で美しい水)、emotion(生きる感動)という6つの”e”の意味が込められている。

### 進展状況

平成21年度は再生作業後の8月上旬に土壌改良としてそばを作付けした。  
 平成22年度は土地利用者の変更によりイチジクの作付けを行った。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後(そば作付け)

問い合わせ先:秋田県耕作放棄地対策協議会 018-860-1857(直通)(秋田県農山村振興課)

## 今回の紹介地区 No.103 福島県 会津若松市 笹山原地区

耕作放棄地再生利用緊急対策及び企業のCSR活動を活用した事例  
 (農地リフレッシュ通信第6号No21で紹介した事例)

### 取組概要

対象面積:1.2ha(田畑)

実施期間:平成21年7月10日～平成21年8月31日

取組のきっかけ:地域協議会が、近隣集落の営農組織へ本制度を活用したソバと菜の花の作付による耕作放棄地の再生利用案を提案したところ、地域の活性化にもつながるとして営農組織を中心に集落を挙げて取り組むこととなった。

調整経緯:地域協議会が営農組織及び所有者の意向を確認するなど、実施に至るまでの調整を行った。

取組主体:営農改善組合(予定作物:ソバ、菜の花等)

作業内容:刈払、抜根、整地等(重機をリース、農機メーカーの協賛)

### 企業のCSR活動の概要

中セキ東北はCSR活動の一環として、耕作放棄地の再生を行う地元の営農改善組合の農家に対しトラクター・機材等を提供。また社員も9名が参加し、石を取り除くなど農家とともに再生作業を行った。

### 進展状況

企業のCSR活動の一環としてトラクター等の機材提供を受け、再生作業を実施。昨年度から資源作物として菜種を栽培し、本年度から菜種油を搾油・販売。また、農地の有効利用と併せて、良好な景観形成・農業体験イベントの開催等により地域の活性化に取り組む。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先:福島県耕作放棄地対策協議会 024-521-7415(直通)(福島県農村振興課)

**今回の紹介地区 No.104** しおばらしんでん  
**静岡県 御前崎市 塩原新田地区**

**耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例**

**状況**

**地区概要:** 農地面積 90.42ha、うち耕作放棄地 47.12ha  
**放棄の理由:** 施設園芸への転換による余剰農地と高齢化による労働力不足等  
**荒廃の程度:** 雑草の繁茂に加え、一部には樹木の進入も見られ、人力、農業用機械、重機による作業が必要

**取組概要**

**対象面積:** 1.9ha(畑)  
**実施期間:** 平成22年4月15日～5月10日  
**取組のきっかけ:** 市が建設業組合に本対策に取り組む意向がないか打診したところ、以前から農業参入に意欲を示していた3社が建設資材、従業員を活用した耕作放棄地を優良農地に蘇らせ営農活動を行うこと目的として、平成22年3月に農業生産法人(株)御前崎ファームランドを設立した  
**調整経緯:** 市が実施した耕作放棄地全体調査の結果を受け、農業生産法人が地権者との調整を行い実施に至る  
**取組主体:** 農業生産法人 (株)御前崎ファームランド(作物:さつまいも・たまねぎ)  
**作業内容:** 刈払、立木除去、抜根、深耕、整地、土壌改良、営農定着

**今後の予定**

平成22年5月に作付けたさつまいもを11月に収穫し、一部を切干芋に加工して販売予定。裏作にはタマネギの作付けを予定。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先: 御前崎市担い手育成総合支援協議会 0537-85-1125(直通)(御前崎市農林水産課)

今回の紹介地区 No.105 とうおん ほうぞうじ  
**愛媛県 東温市 宝蔵寺地区**

**耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例**

**状況**

地区概要：農地面積 8.1ha、うち耕作放棄地 2.08ha  
 放棄の理由：高齢化による労働力不足、鳥獣被害等  
 荒廃の程度：雑草の繁茂に加え、イノシシによる畦畔等の破損もみられる。  
 また、用排水路の復旧も必要。

**取組概要**

対象面積：0.35ha(水田)  
 実施期間：平成21年11月28日～平成22年3月1日  
 取組のきっかけ：平成21年度に当該NPO法人が実施主体として開設した「里山のお米づくりプロジェクト」で、当該地域内の耕作放棄地を再生し、市民農園にして活用する気運が高まっていたところ、東温市地域担い手育成総合支援協議会が当該NPO法人に本対策を紹介し、取組が具体化  
 調整経緯：地域協議会と連携し、農業委員会が地主へ働きかけ、特定農地貸付法の手続きを経て市と協定を交わし、実施に至る  
 取組主体：NPO法人(市民農園開設主体)  
 作業内容：雑草の刈払・処分、明渠の補修(整地と土壌改良には農機具メーカーが協賛)

**今後の予定**

平成22年度から、都市部の中高一貫教育校の第4学年の生徒約120名が、総合学習の一環として米づくり体験に参加。23年度以降も継続利用予定。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先：東温市地域担い手育成総合支援協議会 ☎089-964-4409 (東温市 農林振興課)

今回の紹介地区 No.106 みさき  
石川県 珠洲市 三崎地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

**状 況**

地 区 概 要 : 農地面積16.7ha うち耕作放棄地 4.9ha

放棄の理由 : 高齢化による労働力不足等

荒廃の程度 : 雑草の繁茂が著しく、地下茎の除去も含めた人力、農業用機械での再生が必要

**取組概要**

対 象 面 積 : 1.9ha(畑)

実 施 期 間 : 平成22年2月22日～平成23年3月

取組のきっかけ : 国営開発地で規模拡大を目指す取組主体が、荒廃していた耕作放棄地の再生について地域協議会に相談し、取組が具体化

調 整 経 緯 : 取組主体(農業者)が直接土地所有者と調整を行い実施に至る

取 組 主 体 : 農事組合法人 きずな (作物:大豆)

作 業 内 容 : 再生作業(刈払、除根、耕起、整地等)、土壌改良、施設補完整備

**今後の予定**

耕作放棄地の再生作業に付帯して整備した大豆乾燥調整貯蔵施設を用いて出荷時期の調整を行い、継続的、安定的な農業生産を実現する。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業完了

問い合わせ先: 珠洲市農地活用対策協議会 0768-82-7767

**今回の紹介地区 No.107**

石川県 能登町 <sup>やなぎだ</sup>柳田地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

**状況**

地区概要：農地面積133ha うち耕作放棄地約2ha

放棄の理由：高齢化による労働力不足等

荒廃の程度：雑草の繁茂に加え、一部には樹木の侵入もみられ、人力、農業用機械による作業が必要

**取組概要**

対象面積：0.1ha(水田)

実施期間：平成21年11月～平成22年3月

取組のきっかけ：周辺に耕作放棄地がないことで、当該農地の荒廃がとりわけ目立ち、景観の悪化や病虫害の発生を懸念した取組主体が、土地所有者と協議し再生に取り組んだ

調整経緯：取組主体が土地所有者と調整を行い実施に至る

取組主体：農事組合法人 SKYファーム（作物：大豆）

作業内容：刈払い、整地、土壌改良、営農定着

**今後の予定**

再生した農地で大豆を収穫し、直売所や近隣の豆腐加工店に出荷する予定。



再生作業前



再生作業完了



作付作業完了

問い合わせ先：能登町担い手育成総合支援協議会 0768-76-8302（能登町農林水産課）